

「神経発達症児に対する SST およびペアレント・トレーニング」

立教大学 現代心理学部 特任准教授 岡島純子

SST and parent training for children with neurodevelopment disorder

Junko OKAJIMA

Associate Professor, College of Contemporary Psychology, Rikkyo University

Qualifications: Certified psychiatrist, clinical psychiatrist, cognitive behavioral therapist,
cognitive behavioral therapy supervisor

本講演では、「獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター」で、行われていた自閉スペクトラム症（ASD）児に対するソーシャルスキル・トレーニング（SST）と認知行動療法（CBT）とその親に対するペアレント・トレーニング（PT）についての内容を紹介しました。SSTは、ASDの診断がある児童、小学校2年生から小学校6年生、CBTは、小学2年生～中学生を対象としています。理由としては、このような時期に対人関係にうまくいかなさを感じ始めている場合が多いからです。SSTは、行動のしくみ（機能分析）を考えた上で、代替行動として機能するような行動のレパートリーを標的スキルとすることが大切です。また、SSTを行う構成要素には、教示、モデリング、リハーサル、フィードバックを含め、般化促進にむけた工夫やスキルの実施の状況を自己モニタリングできるような機会を設けることが望ましいです。

そして、CBTでは、ASD児自身が不快に感じている場面を特定することの難しさや、自身がどのような感情であるのか気づくことが難しいです。演習では、ワークシートを用いて、認知再構成する方法や漸進的筋弛緩法などの実施方法を演習しました。

子どもがスキルを習得しても家庭の中で、強

化される環境がないと維持しにくいいため、PTを行うことが大切です。また、保護者が子どもを理解し、受け入れてうまく対応できることは、ASD児にとっても自信が生まれ、自分自身を受け入れやすくなります。PTの場面では、親から「全然いいところなくてほめられないんです」と言われることがあります。親は困った行動によく注目しがちです。それは、子どもの将来のことを考えた際の不安からくるかもしれませんし、対応が難しくうまくいかないことへのイラ立ちからくるかもしれません。ちょっと視点を変えて、今できていること、ほめられそうなこと、できそうな行動に気づき、PTを通して、親は変えていくことができます。なかまプログラムの中では、「子どものあいさつをほめよう」「話をすることをほめよう」「話をきくことをほめよう」という内容を通して、行動を強化することを丁寧に体験してもらいます。また、「報告を手順に分けてほめよう」では、スモールステップで取り組む方法を学びますし、指示の出し方、環境の調整のしかたなどの工夫について親が習得していくことができます。「困った行動に取り組もう」という段階になって、それまでの取り組みがうまくいけば、「もう、困ったことはあまりありません」ということも多くあります。

SST の介入研究においては、親評定の PSI(育児ストレスインデックス) で、SST 後～プログラム後、GHQ (精神的健康) でプログラム開始から SST 後にかけて下がりました。子ども評定の対人応答性尺度 (SRS) の Cog は「物事を文字どおりに取りすぎて、会話の意味が理

解できない」などの対人的認知を測定しますが、プログラム開始から SST 後にかけて下がりました。CBT の介入研究では、「人が何を考え、感じているかに気づいている」という対人的気づき (SRS-A) が CBT 前よりも CBT 後の方が良好であることがわかりました。

神経発達症児に対する SSTおよびペアレントトレーニング



立教大学

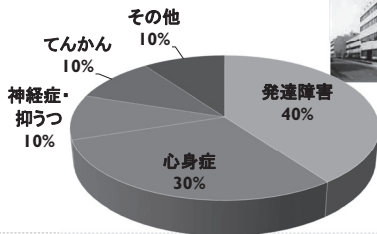
岡島純子

本日の内容

- ▶ 講義：ASDの子どものSSTとCBT（45分）
- ▶ 演習（30分）
 - グループワークの計画を考える（10分）
 - 4～5グループにわかれてロールプレイを行う（20分）
- ▶ 休憩
- ▶ 講義：ASDの子ども育てる親へのPT（30分）
- ▶ 質疑応答（5分）

グループ実施場所

獨協医科大学埼玉医療センター
子どものこころ診療センター



獨協なかまプログラム

自閉症スペクトラム障害と診断されている

申込時点で通常学級に在籍している
IQ70以上小学校2年生～中学生（2014年度より）

ソーシャルスキル
グループ（6回）

認知行動療法
グループ（6回）

小学校2年生～小学校5年生

小学校3年生～中学生

- 第1期（平成23年6月～11月）：7名
- 第2期（平成24年6月～11月）：7名
- 第3期（平成24年11月～4月）：6名
- 第4期（平成25年6月～11月）：6名
- 第5期（平成26年7月～12月）：10名
- 第6期（平成27年7月～12月）：10名
- 第7期（平成28年7月～12月）：9名

ペアレント
トレーニング（6回）



応用行動分析の基本：ABC支援

(Antecedent stimuli → Behavior → Consequent stimuli)

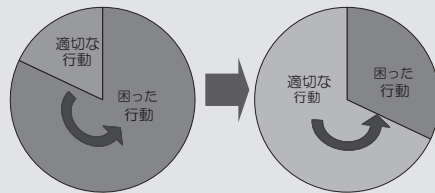
先行刺激 行動 後続刺激

- A：適切な行動が出やすい環境をつくる。
- B：「弱い（苦手な、できない）」ところではなく、「強い（得意な、できつつある）」ところを見だし、そこに焦点を当て、支援する。
- C：すこしでも適切な行動が出現、成立したら、十分、賞賛する。達成感を持たせる。

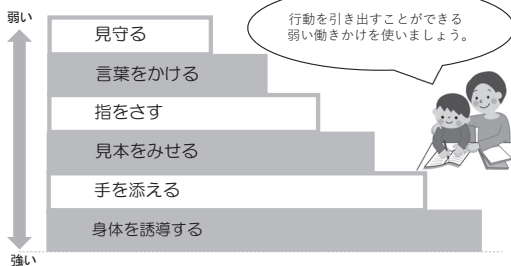
困った行動を減らすことより 適切な行動を増やすこと

これまでの(大人から見た)バランス

これからの(大人から見た)バランス



先行刺激への働きかけ



グループに参加しないTくん



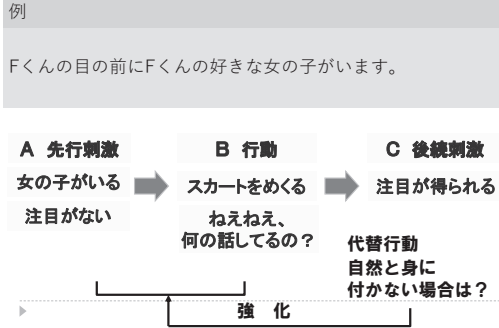
Tくんは、通常学級に在籍する小学4年生の男の子です。自閉スペクトラム症を抱えています。今日から、Tくんは、療育センターで行われている親子プログラム参加します。プログラムを受ける親子が8組いました。Tくんは、部屋に入るとすぐに、部屋の後ろにあるホワイトボードの後ろに隠れてしまいました。岡島先生は、Tくんを見守っていました。すると、Tくんはホワイトボードの上から顔を出し、「変なの」「わかんない」と言いました。参加している子ども達は、Tくんの方を見たり、くすくすと笑う子どももいます。

ちょっかいをだすFくん



小学1年生 男児 Fくん
Fくんは、友達が楽しそうに遊んでいると、友達の気を引くような行動をします。その結果、“Fが嫌なことしてくる”と友達は感じてしまい、友達の中にうまく入っていきません。
Fくんは、好きな女の子がいます。その好きな女の子が近くにいると、足を踏んだり、スカートめくりをしてしまいます。
女の子からは、とても嫌がられてしまっています。

代替行動の形成



スキル(skill)とは？

技能・熟練
訓練して身に付けた技能

▶ 獲得可能な「技能や能力」のこと

- ▶ 先天的な能力（背が高く高い所のものを取りることができる能力）はスキルとは呼ばれにくい、獲得可能な能力（ジャンプによって高い所のものを採ることができる能力）はスキルと呼ばれる
- ▶ この両者をあわせもった能力を表す場合は、**アビリティー (ability)**

例えば・・・

運転

スポーツ

資格

新しい自分をみつける。

ソーシャルスキル

広義のソーシャルスキル
社会性・対人面に焦点を当てたスキル
ソーシャルスキルトレーニング＝子どもとの交流や遊びなどを通して向上させる。

狭義のソーシャルスキル
対人関係を円滑に運ぶための知識とそれに基づいた、**具体的な技術やコツ**
ソーシャルスキルトレーニング＝行動療法の理論に基づき、学習を促す。

コーチング法

- ①教えられて（インストラクション）
- ②人のまねをして（モデリング）
- ③試してみても（行動リハーサル）
- ④結果から学んで（フィードバック）
- ⑤日常場面での定着化（般化）

（出展）
「親子で成長！ 気になる子どもの SST実践ガイド」から
2021 山本淳一、作田亮一（監修）
岡島純子、中村美奈子、加藤典子 著 金剛出版
→事例や実践例などが掲載されています

①教えられて（インストラクション）

これからどんな社会的スキルを学ぼうとしているのか、そのスキルを身につけることが対人関係をよくするのにどんなに大切なものかについて、説明したり、子どもたちと話し合う。

②人のまねをして（モデリング）

その場にふさわしい適切なソーシャルスキルを実施し、そのスキルを実施した後、どんなよい結果が得られるかまで見せる。また、ふさわしくない行動も実施すれば、「あのようしたら、うまくいくのか」「あのやり方はまずいのか」と、見て学ぶことができる。この段階で、**具体的にどのような行動が良いのかポイントとして整理しておく。**

③試してみても (行動リハーサル)



▶ 「こういうときはこうすればいい」と知識で知っているだけではうまく実行できないことが多い。実際に行ってみることで、実行する自信を付けることが重要である。

④結果から学んで (フィードバック)

スキルを実施したあとに褒められる、仲間から受け入れられる、相手が喜ぶなどのよい結果が起これば、スキルを実施することが維持される。相手の気持ちを確かめたりするなどの工夫を行う。

⑤日常場面での定着化 (般化)

▶ 練習場面で実際に行えたとしても、実際の自然場面では、そのスキルを実行する場面であることに気付かないことがある。そこで、定着化を促す自由場面として、ゲームを取り入れた場面を設定する、ホームワークを出し、スキルをリハーサルしてもらい定着化を図ることもある。日常場面で、「こういうときどうやるんだっけ」とさりげなく手がかりを与えたり、実行できたときには確実にほめることが、日常生活の定着化につながる。



▶ これらの要素を踏まえれば、ゲーム形式でも実践できる。

ソーシャルスキルを身に付けるために

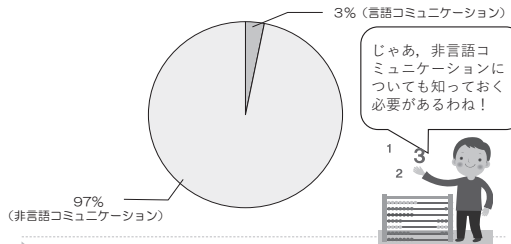
対人関係を円滑に運ぶための知識
(例：初対面の人に自己紹介するときには、笑顔で自分の得意なことを話すとよい。)

具体的な技術

- 言語的側面
(知識に基づいて実際に得意なことを話す。)
- 非言語的側面
(実際に笑顔になる。)

非言語・言語コミュニケーション

人はどうやってコミュニケーションをとっているのだろう？



子どもの認知行動療法

- ・自身の感情に気づく
- ・自分の考えに気づく
- ・俯瞰してみる
- ・楽しく検討する

気持ちを悲しくさせる

はんにんは、だれだ??

★考えと気持ちは、関係していることがわかりましたね。おちこんだり、悲しい気もちと関係する「かんがえ」があることがわかりました。「かんがえ」はいろいろあって、中には、みんなのたすけにならないかんがえもあります。



助けにならない考え = おじやま虫

とびましよう。

○君

今日のおめで②:
あなたのおじやま虫をつかまえよう！

★あなたのおじやま虫にはせせせせせせ(おじやま虫)をつかまえよう。前回のホームワーク気もち・考えつりゲーム(★はなごさんと同じさもちになったできごとを思い出してみよう)に書いたことをもとに、例にならって書き出してみよう。

できごと	考え	気もち (得意?)
①) 6月5日(土) 10:00 かぞくみんなと公園に お散歩をする	①) かわいくて、おもしろい。 お散歩、ぼくは大好きなことに お散歩は楽しい。	①) うれしい (H) おちこみ (S) イライラ (S)
②) 6月5日(土) 10:00 かぞくみんなと公園に お散歩をする	②) かわいくて、おもしろい。 お散歩、ぼくは大好きなことに お散歩は楽しい。	②) うれしい (H) おちこみ (S) イライラ (S)
③) 6月5日(土) 10:00 かぞくみんなと公園に お散歩をする	③) かわいくて、おもしろい。 お散歩、ぼくは大好きなことに お散歩は楽しい。	③) うれしい (H) おちこみ (S) イライラ (S)

★あなたのおじやま虫に○をしてみよう。

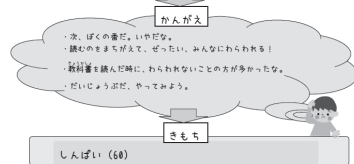
おじやま虫とおたすけマンを知ろう！

★はんたくんのけいけんから考えてみよう！

なつき 小学6年生

できごと

今日は、国語の時間に、教科書を讀むことになりました。次は、なつきさんの読むじゃんぱんです。



★なつきさんのおじやま虫に○をしてみよう。

助けになる考え =



とびましよう。

あなたのおたすけマンをさがそう

おじ(5歳) 読みのをまちがえて、みんなにわられる。

さも(4歳) ぶあんに(90)

おたすけマンリスト

- いいとこさがし
- ぜんぶOでなくてもいいよ
- よげんしません

本番にいつも入ってた？ 本番にあなたをさがし？ できるときはなかつた？

ぜんぶOでなくてもいいよ、だからでもはらってちょうよ！

まだわからないのに、君のことききあけていますか？ やってあげないで、げんご、わからないよ！

おたすけマン 教科書を読んだ時に、わらわれないことの方が多かった。だいじょうぶだ、やってみよう。

さも(4歳) ぶあんに(30)

A君

今日のめあて①: あなたのおたすけマンをさがそう！

ホームワークのおじ(5歳)も本番練習で、おじ(5歳)を練習しておきました。

おたすけマンリスト

- いいとこさがし
- ぜんぶOでなくてもいいよ
- よげんしません

本番にいつも入ってた？ 本番にあなたをさがし？ できるときはなかつた？

ぜんぶOでなくてもいいよ、だからでもはらってちょうよ！

まだわからないのに、君のことききあけていますか？ やってあげないで、げんご、わからないよ！

おたすけマン 教科書を読んだ時に、わらわれないことの方が多かった。だいじょうぶだ、やってみよう。

さも(4歳) ぶあんに(30)

B君

今日のめあて①: あなたのおたすけマンをさがそう！

ホームワークのおじ(5歳)も本番練習で、おじ(5歳)を練習しておきました。

本番にいつも入ってた？ 本番にあなたをさがし？ できるときはなかつた？

ぜんぶOでなくてもいいよ、だからでもはらってちょうよ！

まだわからないのに、君のことききあけていますか？ やってあげないで、げんご、わからないよ！

おたすけマン おげんし、さもん やってめななくんわからんない。

さも(4歳) 不安(2.0%)

めいしパズルゲーム

- カードに名前、学年、組、好きな教科を書きます。
- 絵をわいたり、シールをはります。
- くじを引きます(自分の番号をおげえます)。
- みんなに名前をかいたカードをわたしながら、じこしょうかいをします。

「ぼく(わたし)の名前は、○○です」

「○年○組です」

「好きな教科は、○○です」
- あいての番号を聞き、そのばんごうのめいしをあげます。
- めいしを全部もらったら、いいことがあります。

おたすけマンカード①

おたすけマンカード②

おたすけマンカード③

おたすけマンをよびましょう！

ぜんぶOでなくてもいいよ

いいとこさがし

よげんしません

おたすけマンカード①

おたすけマンカード②

おたすけマンカード③

おたすけマンをよびましょう！

ソーシャルシンキング

相手が何を考え、どのような気持ちでいるのか、それに応じて自分はどうふるまえばいいのかを考える力は、年齢とともに発達していきます。

同時に、ますます複雑になる「暗黙のルール」を理解する力が求められるようになります。目に見えずに分かりにくい、自分や他の人の考えを考えたり、暗黙のルールを見つけていくための方法を学ぶ”道具”を伝えていきます。

たんていゲーム

- わたしたちは、たんていになることをめとめることができます。
- たにんの「こうどう」は、目に見えないから、たにんの「かんがえ」は目に見えないから、たにんの「こうどう」のりゆうがわからないと、かあんにあたり、傷ついたりします。
- じつは、たにんの「こうどう」のりゆう(かんがえ)にはほんとうのせいめいはないのです。
- わたしたちは、たにんの「こうどう」のりゆう(かんがえ)をようしたり、それがあっているかんがえがあるひつようがあるのです。
- もし、よそくがうまくいなくて、たにんの「こうどう」のりゆう(かんがえ)がわからないときは、「わたしがきかれているからだ」とか「わたしがかんがえていないから」とか多々かんがえをよげんしなうせてくるかもしれない。たんていに、たにんがわたしに「待たされているこうどう」を、さがしていきましょう！
- 学校や家で、すでにたんていになれるとよいので、たんていゲームをして、練習しましょう。
- これから、3つの場面を先生たちがえんじます。たにんが「きたいしているこうどう」が何かあててみましょう。

演習

▶ やってみたい内容について資料を参照してグループワークについて計画してみましょう。(10分)

▶ グループワークをどのようにすすめるかディスカッション・ロールプレイをしてみましょう。(20分)

ペアレントトレーニング



「親は自分の子どもに対する最良の治療者になれる」

という考えに基づいて、親を対象に子どもの養育技術を習得させるトレーニング

ペアレントトレーニングの目的と効果

ペアレントトレーニングの目的

▶ 問題行動の改善を狙ったものから、身辺自立を促進するものまで様々。

ペアレントトレーニングの効果

- ▶ 子どもの問題行動の軽減
- ▶ 親の育児ストレス・抑うつ改善
- ▶ 子どもの発達の促進

「宿題をする」手順

手順	①	「わかった」と返事をする
	②	座る ヒント：「分かった?」と聞く
	③	ランドセルからドリルを取り出す
	④	筆箱から鉛筆を取り出す
	⑤	ドリルを開く ヒント：筆箱を渡す
	⑥	問題を解く
	⑦	鉛筆を筆箱にしまう
	⑧	ドリルを閉じてランドセルにしまう
	⑨	「終わった」と報告をする

「目玉焼きを作る」手順エクササイズ

①	フライパンと卵と油を準備する。
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

なかまプログラムの各セッション内容

回数	各回のテーマ	内容
第1回	子どものあいさつをほめよう	強化の原理
第2回	子どもが話をすることをほめよう	強化子
第3回	子どもが話をきくことをほめよう	先行刺激の統制
第4回	手順に分けて、報告することをほめよう	行動連鎖
第5回	子どもの困った行動に取り組もう	機能分析①
第6回	これまで学んだことを使って、子どもの行動に取り組もう	機能分析②

なかまプログラムでのペアレントトレーニングの毎回の構成

・ 1セッションの構成(1回2時間) ※最後10分でアンケートの記載

ホームワーク(HW)発表(30分)

教示とモデリング(15分)

次回までのHWの計画(15分)

HWの練習(20分)

HWの発表(30分)

ポイント①：
共感して話を聞くスキル



「親訓練」なので、実施者側は親の話を聞くとすぐに教えたくなくなります。

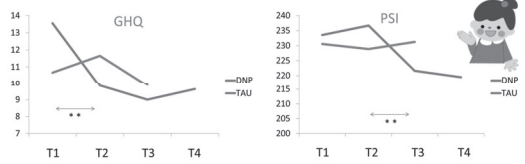
⇒ まずは、感情に共感して下さい。
例) 「それは腹が立ちますね」
「落ち込みますね」

演習 2：機能分析

資料の「太郎君のストーリー」を読んで機能分析ワークシートの上段の基本フレームを使って太郎君の困った行動のメッセージと嬉しい結果を考えてみましょう。



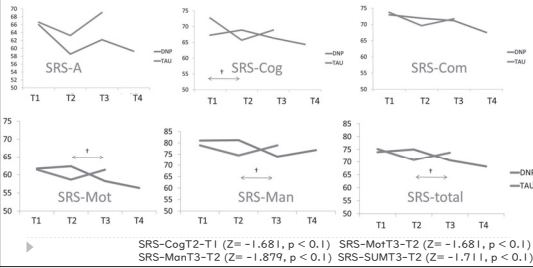
なかまプログラムの結果



DNP N=11 TAU N=11
 T1:Pre T2:SST後 T3:PT後 T4:3ヶ月FU後
 GHQ2-T1 (Z = -2.006, p < 0.5)
 PSI total T3-T2 (Z = -2.102, p < 0.5)

なかまプログラムの結果2

SRS-A 「対人的気付き」「人が何を考え、感じているかに気づいている」
 SRS-Cog 「対人的認知」「物事を文字どおりに取りずけて、会話の意味が理解できない」
 SRS-Com 「対人的コミュニケーション」「仲間とやりとりするの苦手さ」
 SRS-Mot 「対人的動機付け」「人といふより、独りしていることを好む」
 SRS-Man 「自発的常同性」「同じことを何度も何度も繰り返し考えたり話したりする」



SRS-CogT2-T1 (Z = -1.681, p < 0.1) SRS-MotT3-T2 (Z = -1.681, p < 0.1)
 SRS-ManT3-T2 (Z = -1.879, p < 0.1) SRS-SUMT3-T2 (Z = -1.711, p < 0.1)

なかまプログラムの結果3

認知行動療法研究 47(1), 47-60, 2021
 doi: 10.24468/jbict.19-021

(実践研究)

不安症状を持つ自閉スペクトラム症児のための
 小集団認知行動療法の開発とその効果
 —パイロット・スタディー—

岡島 純子¹ 中村 美奈子² 石川 愛海³
 東 美穂⁴ 大谷 良子⁴ 作田 亮一⁴

要約

本研究では、不安症状がみられる小学2-6年生の自閉スペクトラム症 (ASD) 児とその親に対して、認知行動療法 (CBT) と視訓練 (RPET) を実施し、その効果を検討した。1 割 120 分の CBT セッションを6週、RPET セッションを6回実施した。参加者は、12 歳の親子であった。親と教師により、子どもの不安症状、自発的行動特徴、情緒と行動の問題について事前、事後に評価された。自己評定の不安症状も事前と中期 (CBT 後) に評価された。7 検定の結果、自己評定による不安症状は、「社会恐怖」において、事前よりも CBT 後のほうが減少する傾向がみられた。自発的行動特徴では、視評定の「対人的気づき」「対人的コミュニケーション」「対人応答性尺度合計」、情緒と行動の問題では、教師評定の「情緒関係の問題」が、事前よりも事後のほうが有意に減少していた。一方で、視の評価に変化はみられなかった。
 キーワード：自閉スペクトラム症 不安症状 認知行動療法 視訓練

SRS-A 「対人的気付き」「人が何を考え、感じているかに気づいている」
 SRS-Cog 「対人的認知」「物事を文字どおりに取りずけて、会話の意味が理解できない」
 SRS-Com 「対人的コミュニケーション」「仲間とやりとりするの苦手さ」

Table 3 各評価時点における不安症状の平均値 (標準偏差) と効果サイズ (95%信頼区間)

Pre-int T1	Post-CBT T2	d (95%CI)	Pre-int T1	Post-RPET T3	d (95%CI)
自己評定 (N=11)			教師評定 (N=10)		
不安症状	10.82 (3.36)	-1.61 (-2.09 ~ -1.13)	社会恐怖	10.36 (3.03)	-1.01 (-1.49 ~ -0.52)
社会恐怖	12.73 (3.36)	-1.91 (-2.39 ~ -1.43)	情緒問題	10.36 (3.03)	-0.51 (-0.99 ~ -0.03)
情緒問題	10.82 (3.36)	-1.21 (-1.69 ~ -0.73)	行動問題	9.36 (2.69)	-0.20 (-0.68 ~ 0.28)
PT-CPT	10.53 (3.47)	-1.45 (-1.93 ~ -0.97)	視覚的問題	10.27 (3.04)	-0.51 (-0.99 ~ -0.03)
内発性	9.45 (2.34)	0.73 (0.25 ~ 1.21)	視覚的問題	9.49 (2.93)	0.82 (0.34 ~ 1.30)
他動性	10.44 (3.26)	-1.17 (-1.65 ~ -0.69)	情緒問題	11.48 (3.26)	-1.01 (-1.49 ~ -0.52)
SCAS 合計	65.90 (14.73)	63.00 (13.26)		62.36 (12.53)	-1.13 (-1.61 ~ -0.65)

CCBS 合計 21.86 (9.46) 16.27 (13.20) -3.7 (-4.7 ~ -2.7)

Note. SCAS=Spence Children's Anxiety Scale, CCBS=Child Behavior Checklist for School-Age Children.

Table 4 各評価時点における情緒と行動の問題と自発的行動特徴の平均値 (標準偏差) と効果サイズ (95%信頼区間)

Pre-int T1	Post-RPET T3	d (95%CI)	Pre-int T1	Post-RPET T3	d (95%CI)
Parent responses (N=11)			Teacher measures (N=11)		
SRS-A	5.82 (1.94)	4.38 (2.46)	SRS-A	3.47 (2.21)	3.71 (-1.49 ~ 1.21)
SRS-Cog	2.73 (2.10)	2.41 (1.51)	SRS-Cog	1.82 (1.70)	1.01 (-0.74 ~ 2.76)
SRS-Com	3.91 (1.63)	4.19 (2.21)	SRS-Com	3.59 (1.97)	1.01 (-1.02 ~ 3.04)
SRS-Mot	4.91 (1.64)	4.73 (2.10)	SRS-Mot	3.18 (1.89)	1.73 (-0.19 ~ 3.65)
SRS-Man	5.27 (2.47)	4.26 (1.69)	SRS-Man	5.05 (2.00)	0.61 (-0.30 ~ 1.52)
SRS-total	17.36 (4.52)	15.73 (3.59)	SRS-total	10.08 (5.50)	3.5 (-1.49 ~ 1.99)
SRS-A	60.73 (11.95)	55.05 (9.00)	T3-C1*	56.09 (10.50)	1.0 (-1.65 ~ 1.61)
SRS-Cog	29.76 (11.60)	26.65 (11.82)	T3-C1*	26.44 (11.14)	1.01 (-1.49 ~ 3.51)
SRS-Com	23.45 (13.20)	20.65 (12.79)	T3-C1*	21.73 (10.42)	1.4 (-1.49 ~ 3.69)
SRS-Mot	46.36 (13.20)	44.95 (10.29)	T3-C1*	44.55 (10.51)	2.2 (-1.49 ~ 6.02)
SRS-Man	74.82 (18.21)	70.55 (19.95)	T3-C1*	69.26 (18.92)	1.6 (-1.00 ~ 4.20)
SRS-total	213.14 (44.80)	195.91 (31.53)	T3-C1*	182.27 (32.21)	2.2 (-1.72 ~ 6.32)

Note. SRS-A=strength and difficulties questionnaire in the area of emotional problems, SRS-Cog=strength and difficulties questionnaire in the area of conduct problems, SRS-Com=strength and difficulties questionnaire in the area of social interaction, SRS-Mot=strength and difficulties questionnaire in the area of attention, SRS-Man=strength and difficulties questionnaire in the area of hyperactivity-inattention, SRS-total=total score of SRS. *p < 0.05.

まとめ

- ソーシャルスキルトレーニングはより適切な代替行動を形成することを目的と、仲間から受け入れられやすくなることを目的としている。
- 子どもの認知行動療法は、自分の気持ちや考えに気づき、俯瞰してみたり、楽しみながら検討することで、考えと感情のつながりを柔軟なものにする。
- ペアレントトレーニングの実施をするためには、実施者が機能分析できることだけではなく、保護者が受容しやすいような働きかけをすることが大切である。

御静聴ありがとうございました

